

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 (最終))

仁方中学校区 校番 1 学校名 仁方中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	小学校との連携のもと、9年間を見通した共通の学校教育目標達成に向けて、系統性・連続性をもった経営目標、指標が適切に示されています。昨年度の実績及び調査、生徒・保護者アンケート等により生徒の現状と課題を把握し、テーマを明確にして「中期経営目標を踏まえた現状と今年度の重点」が示されています。生徒指導実践上の4つの視点を基盤とした考える授業づくり・学級経営が生徒の主体性を高め、思考力・判断力・表現力を身に付けた生徒の育成に繋がることを期待します。
目標達成のための方策の適切さ	A	目標達成のための方策について適切と考えます。継続は力なりで、中間報告と変わらずミッション・ビジョンの達成に向けて着実に進められていると感じます。具体性・測定不可能性・達成可能性・関連性で考えても一貫性があります。また、評価委員の会議中、発表される担当教師の皆様も、課題と解決策をしっかりと述べられていました。組織内での合意形成ができており、実行に関わるメンバーのモチベーションや理解度も十分で、具体的な役割分担が決まっていると感じました。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	保護者・生徒アンケート等を活用しながら、生徒の現状を的確に把握した上で、数値に基づいて自己評価の結果を細かく適切に分析し、整理された課題が今後の改善策に反映されています。また、別途資料により評価のもととなるデータが数値で示されていますので、評価の内容とともに生徒の実態や課題等を把握することができます。
今後の改善策(案)の適切さ	A	結果と分析を受けて、課題解決に向けた継続する取組、更に深める取組等、より高みを目指すための改善策が示されています。その改善策が来年度の目標達成のための方策に反映され、成果があがることを期待します。「体力の向上」に関する目標値については、成果がすぐに出にくく、達成が難しいことではありますが、今後とも粘り強く取り組まれることを望みます。3学期から始められたプロジェクト会議を来年度も継続され、教職員のモチベーションアップに繋がっていただきたいと思います。また、新年度を迎えるにあたり、これまでの取組が停滞しないようお願いします。
その他		第77回呉市立中学校連合音楽会(合唱の部)に出場し、「最優秀賞」を獲得した吉報があり、全生徒が「誇り」を感じる事ができた。「やれば出来る」という「自信」に繋がったであろう。このような事の積み重ねが大事と考えます。 校長の確固たる教育理念のもと、教職員が一体となって教育活動が展開され、学校教育目標達成に向かって着実にその成果があらわれていると感じます。授業参観から学習規律の定着や教職員と生徒の信頼関係が見受けられ、教員が常に生徒の行動に目を向けている様子が伝わります。来年度の教育研究大会に向けて、一層の小中連携を図り、その成果が発表されることを願っています。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回のプロジェクト会議で組織的な業務改善の推進を図り、教職員のモチベーションを向上させる。 ・教材費の削減を鑑みながら、Qubenaの効果的な活用をする。 ・避難訓練での引き渡し訓練を早期に実施する。 ・11月の小中一貫教育研究会に向けて、小中連携を図る。
--------------------	---